

組合員の作品

真冬のいちご
暖房でぬくぬく
成田南町 南農園



ろう梅
成田支部 南 みつぐ



おひな様
みい支部
田中喜久代



絵手紙
ゆうゆう支部
大西 和夫

川柳

たんぼぼ支部

五つ星超えてた母の塩むすび

荒川 敏夫

きっかけは老化防止で日記つけ

安達たみ子

ツアーなら行ってみたいね天国へ

中川 福子

ドアに羽根落ちる沖縄命がけ

岡 里美

短歌

平和日本の礎築きし憲法を守るべし幣原喜重郎の教え

門真中央支部

兵頭 克己

夢の中に現がとけて新玉の朝も夢にとけゆく現

守口さつき支部

木下 一

一日違いで値上がる年賀状正月気分失せる寂しさ

守口さつき支部

酒井八重子

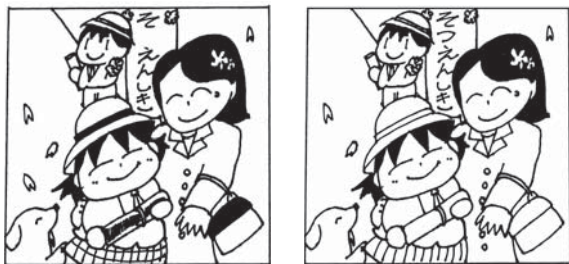
祝いごと多き年なり銭洗い試してみたい倍になるといふ

守口東支部

中嶋 順子

まちがいさがし

2つの絵でちがう所は7カ所。どこでしょう？



「答え」は今月号のどこかにあります

受験生ブルース

受験生ブルース

中川五郎 作詞

高石ともや 作曲・補作詞

1番

おいで皆さん聞いてくれ
ぼくは悲しい受験生
砂をかむよな味気ない
ボクの話の聞いてくれ

2番

朝は眠いの起こされて
朝めし食わずに学校へ
一時間目が終わったら
無心に弁当食べるのよ



中川さん

は、寝屋川市

郡元町出身

で、ごく普通

の家庭環境で

育ちました。

当時の寝屋川

高校には進歩

的な教師がお

り、安保闘

争、アメリカ

のベトナム侵

略戦争反対運

動など、日本

社会全体が政

治的に高揚し

ていた時期で

した。そんな社会情勢

は中川さんをはじめと

した府立高校生の間に

も大きな影響を与えて

いました。

高校生にとって、い

やでも通過しなければ

ならない受験戦争を批

評した。

その上、面白いの

は、こんな事をしてい

たら、「来年も予

備校のブルースを

唄う事になるよ」

(10番)という自

戒の言葉で締めく

くっているのが楽

しいではありませ

んか。

1968年当時の中川五郎さん



成田支部

南 みつぐ

判的にとらえたとしても当然でした。何かもやもやした気持ちを持ちながら言えないのを、彼は高校生らしく率直に表現しているのが、社会から大きく共感されたのです。

歌詞の「テストが終われば友達に、ゼンゼンあかんと答えとき、相手に優越感を与えておいて、後でシヨックを与えるさ」などは、善意のイタズラ気分が出て笑ってすませることができません。しかし、そういった感情を今では、労働者同士を成果主義賃金で競争させ、疑心暗鬼でバラバラにするために、時の政権と資本は都合よく利用しようとしています。

いずれにしてもわが身の事でもあり、楽しくもあり哀しくもある複雑な気持ちになりました。